

令和元年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1690200785
法人名	株式会社 WALK
事業所名	グループホーム白寿園戸出
所在地	富山県高岡市戸出吉住新14番1
自己評価作成日	令和元年8月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページ等で閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人 富山県介護福祉士会		
所在地	939-8084 富山県富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野ビル1階		
訪問調査日	令和元年9月24日	評価結果市町村受理日	令和元年11月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> ・その人の可能性を信じ、制止はせず、寄り添う心を大切に支援している。 ・家族様との絆を大切に、毎月利用者様の日々の暮らしをお知らせ。利用者様の様子を知って頂くとともに、気軽に来館していただけるよう、職員一同明るく楽しい笑顔あふれる環境作りに努めている。 ・人とのふれあいを大切に支え合える地域との関係作りに努めている。文化祭に作品を出品、地域行事に参加、施設行事に参加いただいたりと地域の方が気軽に立ち寄れる施設作りを目指している。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「その人の可能性を信じ、寄り添う心を大切にします」「職員一同、明るく楽しい笑顔あふれる環境づくりに努めます」「人との出会いや触れ合いを大切に、支え合える地域との関係を目指します」という事業所の理念を実践できるよう、管理者をはじめとする介護スタッフは利用者に寄り添い、丁寧な言葉がけを大切にし、暮らしの中で利用者のできる力が発揮できるよう支援している。管理者及び計画作成担当者、介護スタッフに対する家族の信頼は厚く、職員間のチームワークも良く、利用者や職員の笑顔が絶えないホームである。</p>

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 				

1 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	正面玄関前及び掲示板に掲示し、理念を意識したサービスが提供できるよう努めている。	法人の「地域社会と共に歩み」「全ての人を尊重し、尊敬し」「社会と共存できる企業を目指します」の理念のもと、白寿園戸出の創設時にスタッフ全員で介護理念を構築した。月1回のミーティングの際には理念を復唱し、スタッフ全員で理念が共有できるよう努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントや祭りにも参加するようにしている。施設の納涼祭・祭りにも来てもらえるよう努めている。	吉住新自治会の一員として地域の文化祭やコンサートに参加している。また開設時より「白寿園戸出まつり」を開催し、地域住民を招待し、お互いに交流が深まるよう努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	納涼祭やお祭りを開催し、認知症の理解や支援につながるよう努めている。今後は児童の総合学習の参加、受け入れに向けて活動予定。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の運営推進会議を開催している。利用状況や現状を報告し、そこで出た意見を反映。報告書を玄関先や掲示板に掲載し、いつでも誰でも見られるようにしている。	運営推進会議は、吉住新自治会長、戸出自治会長、老人会代表、戸出校下民児協代表、戸出・中田地域包括支援センター、家族代表(テーマごとに参加者は不確定)が参加され、ヒヤリハットや事故報告、活動状況や利用状況の報告と共に課題等についても話し合われている。	会議に参加されない家族にも会議結果等について周知する取り組みを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故等の報告も行き、指示を頂いている。	地域包括支援センター職員とは、日頃から利用者特性に応じて、地域の社会資源を活用した支援方法について相談している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会等で学び、意識の共有をしている。身体拘束廃止委員会も開催し、廃止に向けて取り組んでいる。	身体拘束廃止の指針を整備し、3か月に1回身体拘束廃止委員会を開催している。本年4月には身体拘束廃止に関するビデオ研修を実施している。年度内には2回目の研修会を予定している。研修会の実施を踏まえ、日常的には身体拘束をしないケアを実現している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会において具体的に学び、普段から身体拘束や虐待はしないという意識を持っている。言葉の虐待にも注意を払っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、学ぶ機会を持てなかった。今後学ぶ機会を持ちたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始前にご自宅へ訪問し、ご本人とお話しさせてもらっている。利用契約書や重要事項説明書に沿って十分な説明を行い、不安・疑問等にお答えし、理解を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会に来られた際に個別に意見を聴いたり、電話対応もしている。運営推進会議にはご家族代表も参加していただき、意見を聴いている。	家族の面会時や受診時などには気軽に声をかけて、意見を聞くよう努め、聞き取った要望は介護記録等で共有し、できることから反映させている。	聞き取った意見や要望は介護記録等に記載されているが、遠方の家族の要望を知るためにも、無記名のアンケートを実施するなど意見を表すことができる仕組みづくりの検討を期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや面談等、意見を言える機会がある。いつでも意見を言える雰囲気や関係に努め、提案等に関しては、実現できるよう一緒に考えている。	管理者は、日常業務の中でそのつど個々の職員の話聞き、また月1回のミーティングでは職員の提案を聞きながら要望や意見が可能な限り叶えられるよう努めている。	月1回のミーティングでは、主に利用者に関する話題が多いため、テーマを決め、「運営に関する職員の意見を聞き取る」機会を設けていただく事を期待したい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働環境の改善に取り組んでいる。人事考査制度もあり、自己研磨・啓発が賞与に反映されている為、レベルアップにつながっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の参加や、研修で学んだことを他職員に周知するため、勉強会で発表したりと学ぶ機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修やラン伴参加等、他施設との交流に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に情報収集を行い、本人に合った入居方法を考えている。家族とも連携を取り、安心して過ごして頂けるよう信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	計画作成担当者及び管理職・リーダーが入居前、家族としての困りごとを傾聴。入居となってもいつでも面会が可能であることを伝え、良好な関係作りを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の状況を把握し、事前に来て頂くなどの必要な支援をしている。他のサービス事業所とも連携を図り、情報をもらうようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で出来る事を続けて頂けるよう努めている。職員は、人生の先輩として会話の中で、学ぶことも多い。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が来館された際は、ご本人の様子を伝えたり、相談したりしている。また、色々な面でご家族の協力を頂くことも多い。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の思いを一番に考えてはいるが、こちらから出かけることはない。	家族の協力を得ながら2～3月ごとに知人のお店で食事やカラオケを楽しんだり、大正琴の師範を務めた利用者においてはお弟子さんの訪問があり、大正琴の練習をするなど、本人が大切にしてきた馴染みの場所や人との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やお茶の時間、作業を通して等、常に利用者同士の関わりに気を配り、支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移転された方のその後の状況を把握している。退去された方のご家族が電話相談されることもある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で本人の思いや意向を確認し、モニタリングの際には家族からも希望を聞きプランに反映している。本人にとって必要な支援を検討している。	入所時には家族にセンター方式の一部を記入していたが、介助の留意点や生活のこだわり、好きなこと・嫌いなことなどを記入していただいている。入所後は担当職員が中心となって、本人の思いや意向の把握に努めている。本人との日々の関わりの中から得た思いや意向については、その都度ケース記録に記入している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に本人、家族から生活歴を確認し、アセスメントシートに記載している。また、新しく得た情報は随時追加して共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録を取り、一人一人の状態を把握するようにしている。行動把握表も作成し、食事状態・バイタル・排便状態・受診等、情報共有に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを行い、本人・家族の意見をお聞きしている。利用者の状態に合わせてミーティングを行い、随時ケアプランの見直しもしている。	職員は1～2名の利用者を担当している。職員は利用者の介護計画を理解しており、日々の関わりの中で気づいたことなどを記録するよう努めている。記録はモニタリングに活かされ、介護計画の見直しに活用されている。3か月に1回カンファレンスを開催し家族に説明し同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個別に記録し、いつでも見られるようにして情報共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	散歩やドライブ・外食等、希望に応じた支援をしたり、ご本人にとって一番良い方法を考えるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加したり、当施設イベントに地域の方が気楽に参加していただけるよう努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的にはご家族に定期受診をお願いしている。同行が難しいご家族や、緊急時には職員が対応している。受診時は受診票を作成して情報提供し、適切な医療を受けられるようにしている。	約半数の利用者は入居前のかかりつけ医に受診している。家族の協力の下、最近の健康状態や残薬数を記載した「受診・往診記録」を持参して受診し、医師からも返信のコメントも記載していただき適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師不在の為、ケアマネージャーが主治医と連絡を密にして、指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には付き添い、情報提供を行っている。担当ナースとも連絡をとり、早期退院できるよう努め、家族と一緒に対応や注意事項等を聞くようにして、関係作りに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りに関して、ガイドラインを作成し、本人の意思に従って対応していけるようにする。アドバンス・ケア・プランニングに努める。	利用者は介護度1～4の人が入居しているが開設以来、重度化や終末期に向けた方針は話し合われていない。	早急に事業所としての「重度化・終末期に向けた方針」の共有と支援のあり方について話し合われることを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ケアマネージャー・管理者と連絡をとり、適切な対応が出来るよう努めている。緊急時は、救急車要請。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行っている。運営推進会議においても、地域の方々と災害について、意見交換・協議をしている。	年2回(春は昼間想定、秋は消防署立会いの下夜間想定)の火災時における避難訓練を実施している。運営推進会議では訓練の参加の協力依頼をしている。	事業所が立地している地域は地震、水害等の災害がこれまでなかったとのことだが、万が一発生した場合の非難場所が戸出中学校となっているので、少人数の職員の付き添いで避難が可能かどうか検討されることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩として一人一人を尊重した言葉遣いや接し方をしている。プライバシーに配慮した対応を心掛けている。	日頃から「接遇・言葉づかい」に関する研修を開催している。日常的には職員同士が一人ひとりを尊重した言葉遣いや接し方に違和感を抱いたら、互いに声かけ合って改善に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択肢を設けたり、目で見て選んでいただく等自己決定が出来るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の思いを優先し、希望に沿えるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴日に、着替えの洋服を選んでもらったり、月一回、出張床屋を依頼。本人の思いに沿ってカットやパーマ・毛染めが出来るよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付けにも配慮している。本人に合わせて、刻みにしたり量の調整を行ったりしている。	食材の搬入やメニューは専門業者に依頼している。不定期であるがおやつ作りも楽しんでいる。食事が楽しみなものになるよう、本人の希望を取り入れた献立にしたり、自前の箸、ご飯茶碗やおつゆ茶碗で食事を摂っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量を毎回記録し、栄養・水分が不足している時は、好みの物や摂取しやすいものを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は出来る限り、口腔ケアを促したり、お手伝いして磨いてもらっている。夕食後は、義歯を洗浄している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、その方に合ったパットの使用とトイレへの声掛けをしている。	ユニットごとに「行動把握表」が作成され、利用者一人ひとりのバイタルや食事摂取量、排せつ状況等が一目で確認できるよう工夫されている。夜勤者も「行動把握表」を確認すれば、利用者の日中の様子が分かるようになっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄リズムをチェックし、状況により牛乳・ヨーグルトを提供。医師の判断の下、排泄コントロールもしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週に2回は入浴していただけるようにしている。個々の入浴時のこだわりなどを把握し、入浴を嫌がる方に対しては、声掛けの方法を工夫している。	基本は週2回の入浴となっているが、利用者の希望や体調に考慮しながらいつでも入浴できるように、一人ひとりに沿った対応をしている。浴槽に入ることを好まない利用者にも声がけやタイミングなどの方法を工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個々に違うので、習慣に合わせて休んで頂いている。ゆっくりテレビを観て過ごされる方もおり、気持ちよく休まれるよう、寝具や気温に気を付けている。日中もお部屋で自由に休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬箱を用意。個人ファイルに処方箋を綴り、情報を共有している。薬の変更時は注意深く状態観察している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	朝の掃除機掛けや床拭き、洗濯物干し・たたみ等、個々の出来る事をしてもらっている。個々の思いに合わせ、ドライブや外食・買い物にもっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な外出は難しいが、出来る限り散歩に誘ったり、買い物に同行してもらったりしている。	定期的な外出日は設けていないが食材以外の調味料や洗剤等を購入する際には外出を希望している利用者に声掛けし、できる限り外出の機会を設けている。また、利用者からジョギングしたいと希望があれば、安全に留意しながら同行している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金は持ってもらっていない。必要な時は、立て替えをおこなっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が家族に電話したいと訴えられるときは、時間も考慮し、家族様にもご理解いただき、職員が電話をかけ本人に代わる対応をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレにはわかりやすい表示をし、使用中の札も用意している。中庭に花を植えたり、洗濯物を干したり、生活感や季節も感じられるようにしている。	共用空間は壁面装飾、利用者の作品等、それぞれに個性が光る。壁面に飾られた外出時の写真を見て、家族から日々の様子が手に取るようにわかり、安心しているという声もある。空間全体は明るく、静かで落ち着いた雰囲気である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにソファを置き、気の合う人とテレビを観たり、会話を楽しんだりして頂いている。一人になりたいときは、居室に戻られる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や思い出の品を自由に飾る等、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。	室内には備品として冷蔵庫、小タンス、テレビがセットされている。できる限り自宅にいた時のように過ごして頂きたい、という事業所の意向を汲んでトレーニングマシンなどを持参されている利用者もいる。全体の雰囲気から居心地の良さが感じとれる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の力量に応じて安全に自立した生活が送れるよう家具の配置を配慮している。歯磨きセットや各種洗剤置き場も随時検討し、安全な環境作りに努めている。		

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム白寿園戸出

作成日： 令和 1年 10月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	運営推進会議結果等について、掲示板・玄関先に掲示はしてあるが、周知されていない。	会議結果を報告し、会議に興味をもっていただけるようにする。	運営推進会議の結果について、日々の暮らしをお伝えする手紙と共に郵送する。	6ヶ月
2	10(6)	遠方の家族の要望・意見を聴く機会がないと思える。家族の思い・感じていることを知る機会を設ける必要がある。	遠方の家族も自由に意見を表面化出来るよう、アンケート等で記入して頂く。	年に1~2回、郵送にて無記名のアンケートを実施する。施設内にご意見ボックスを設置し、自由に投函して頂く。	6ヶ月
3	11(7)	一般職員も運営に関して関心を持ち、自由に意見交換できる場が必要。	運営に関して、職員が自由に発言できる機会を設け、意見を吸い上げ、運営に活かしていく。	ミーティング時に利用者に関してだけでなく、運営に関する話も話し合う機会、時間を設ける。	6ヶ月
4	33(12)	利用者の重度化や看取りについて、本人の思い・家族の意向を尊重出来るよう、職員一丸となって取り組む必要がある。	本人・家族の意向に従った対応が出来るようにする。	重度化や終末期に向けて全職員が対応できるよう、話し合いの場を設け、勉強会を行う。ガイドラインを作成する。	12ヶ月
5	35(13)	災害時の避難場所について、誘導の仕方について見直す必要あり。	地域住民の防災意識を高めて頂き、地域の方の協力を得られるようにする。	近隣の方々の状況を把握し、避難訓練参加を呼び掛ける。地域の防災訓練にも積極的に参加する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。